

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	07	項	01	目	02
事務事業名	中心市街地賑わい創出事業(花火庵管理運営委託)								
担当部署	農林商工部商工観光課	0507000	電話	0187-63-1111			内線	252	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	03:活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり
	施策の大綱	02:商業の振興
	施策	02:商業環境整備の支援
	施策の内容	01:中心市街地再活性化の推進
根拠法令等		

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	中心市街地の中心に位置する花火庵施設を活用し、中心市街地の賑わい創出のための事業を行い、商店街の活性化と商業振興を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民、市外からの来客者。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	中心市街地賑わい創出施設(花火庵)の管理運営を(株)TMO大曲に委託し、中心市街地の賑わいを創出する事業を行い、誘客を図る。 花火庵では、大曲花火屋(NPO法人大曲花火倶楽部運営)が「大曲の花火」を資料展示し情報発信するとともに、全国花火競技大会当日に花火鑑賞の講習会を開催している。また、ボランティアグループ「のびのびらんど」が普段から手話勉強会、簡単クッキングなどを開催しているほか、企画イベントとして俳句・短歌・川柳を全国から募集する「大曲の花火うた」などを行っている。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	市民及び観光客が当該施設を活用しながら回遊することにより、中心市街地の賑わいを創出し、商店街の活性化が図られる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 花火庵の開館日数	日	360	359	297
	② 活動団体数	団体	4	5	6
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 花火庵の入場者数	人	25,227	21,335	22,507
	② 活動回数	回	384	407	331
	③				
投入コスト	決算額		3,777千円	4,072千円	3,982千円
		一般財源	3,777千円	4,072千円	3,982千円
	人件費		714千円	705千円	713千円
		一般職員の年間従事人数	0.1人	0.1人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト	(決算額+人件費)	4,491千円	4,777千円	4,695千円

事業を取り巻く環境	<p>平成17年度より事業を行っているが、現在、花火通り商店街、のびのびらんどに加え、花火通り商店街を主体とする「土屋館衆」が組織され、これらの団体が商店街の活性化に向けた、様々な取り組みを行っている。</p> <p>花火庵は、これまで商店街の賑わい創出のための集客施設として利用されてきたが、平成22年11月に策定された大仙市中心市街地活性化基本計画の中でも、中心市街地の賑わい創出の核となる施設として位置付けられており、各種団体とより一層連携し魅力向上を図る必要がある。</p>
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	大曲の花火を紹介する花火玉などを展示している観光スポットであるとともに、商店街の賑わい創出のための各種イベント時の集客施設であり、また、商店街の休憩スポットでもあることから、中心市街地の賑わい創出のためには必要な事業である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	商店街、のびのびらんど、土屋館衆等の新たな連携により、賑わい創出に向けた取り組みが一層多様化したこともあり、閉館日を設けたにも関わらず前年度から利用者が増加している。 現在の様々な取り組みが、継続して利用者を増加できるのか検証する必要がある。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	B
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	現在、(株)TMO大曲に委託し、施設の管理運営を行っている。 今後も当該会社がボランティア団体、商店街団体などと連携し、新たな賑わい創出の事業展開は可能と考えられる。 コスト面では、光熱水費及び家賃が事業費のほとんどを占めているが、平成22年度から利用状況を見ながら閉館時刻の繰上げを行うことにより、光熱水費の縮減に努めている。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	大仙市中心市街地活性化基本計画では、「のびのびらんど」によるサークル活動の更なる充実を見込んでいるほか、平成26年度を目標に、花火庵に「まちなか待合室」機能を新たに持たせるなど、活性化事業を進める予定である。
C 拡大	
D 縮小	
E 廃止	
F 終了	
拡大	